

石田まさひろ

参議院議員・自由民主党

MASAHIRO ISHIDA

1967年 奈良県大和郡山市生まれ。兵庫県・甲陽学院高等学校卒業。

1990年 東京大学医学部保健学科卒業。在学中は応援部の活動に精力を注いだ。

当時ほとんどいなかった男性の看護師として聖路加国際病院（内科）東京武蔵野病院（精神科）に勤務。その後、日本看護協会政策企画室長として看護関連政策の立案・調整に従事。続いて38歳で日本看護連盟幹事長に就任し各級選挙のかじ取りをする。2013年 比例区（全国）にて参議院議員初当選し、現在2期目。

現在の役職

参議院 厚生労働委員会 筆頭理事

政府開発援助等及び沖縄・北方問題に関する特別委員会 委員

東日本大震災復興特別委員会 委員

行政監視委員会 委員

自民党 参議院自民党国会対策委員会 副委員長

厚生労働部会看護問題小委員会 副委員長

厚生労働関係団体委員会 副委員長

労政局 次長

科学技術・イノベーション戦略調査会 幹事

議 連 患者と共に慢性腎臓病対策を推進する議員連盟 事務局長

看護問題対策議員連盟 幹事



石田まさひろ

参議院議員・自由民主党

MASAHIRO ISHIDA

これまで担った国会における主な役割

参議院 厚生労働委員会 委員長
 沖縄及び北方問題に関する特別委員会 委員長
 議院運営委員会 理事（3席）
 財政金融委員会 理事

自民党 副幹事長
 厚生労働部会 副部会長
 財政金融部会 部会長代理
 看護問題小委員会 事務局長
 ネットメディア局 次長
 女性局 次長
 的指向・性自認特命委員会 事務局次長
 参議院自民党 副幹事長

国会議員になる前の
主な経歴

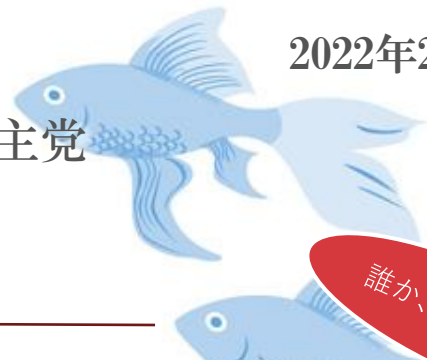
- 看護師として聖路加国際病院（内科）東京武蔵野病院（精神科）で勤務。長期入院患者の退院支援と地域生活支援で当時の日本を先導する大きな成果を上げる。難病患者等への訪問看護も経験。
- 衆議院議員秘書として政策補佐、地元事務所責任者等を経験。
- 日本看護協会で、政策企画部門と情報管理部門を同時立ち上げ。
- 日本看護連盟で、幹事長として全国組織のリフォームを企画・先導。現在の組織の力の基盤をつくる。各級選挙で選対実務責任者として候補者を当選に導く。

石田まさひろ

MASAHIRO ISHIDA

参議院議員・自由民主党

2022年2月現在



誰か、気づいて!

趣味あれこれ

金魚

「らんちゅう」を中心に多数飼育。品評会に出す腕前。自宅屋上に水槽50個ほど。朝晩はひたすら水替えをする。"土佐錦" "出雲なんきん" "蝶尾" "鉄魚" "彩錦" "大阪らんちゅう" 等 希少種も飼育 錦鯉やメダカも卵から育てるほど。



神社

全国の神社を参拝。神社の場所、向き、祭事、他の神社との位置関係などまで調べることでその地域の人々の昔からの思いを考え、日本の古代史の真実を探求するのが楽しい。考えをまとめて、いつかは本を書きたいと思っている。

